# 白老町民限定 ウポポイ年間パスポート無料引き換え

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

７月にウポポイ年間パスポート無料引き換えはがきを送付しましたが、引き換えはお済みですか？引き換えはがきと身分証明書をウポポイに持参すると、無料で年間パスポートに引き換えることができます。

また、年間パスポートをお持ちの方は駐車料金も無料になります。引き換え期間は令和８年１月31日までです。現在年間パスポートをお持ちの方は有効期限前に引き換えても有効期限の残日数＋１年間で発行していますので早めに引き換えください。

※中学生以下は入場料無料のため、高校生以上の方にウポポイ年間パスポート無料引き換えはがきを送付しています。
※はがきを紛失した方は再発行できますので下記までお知らせください。
※年間パスポートとの引き換えは、はがきに記載された本人のみとなります。

年間パスポート詳細はこちら

ウポポイでは開業５周年特別イベントを開催中です！

**問い合わせ先：企画政策課　アイヌ政策推進室　☎８２－７７３９**

# しらおいチェプ祭　アイヌ文化を発信

第35回しらおいチェプ祭が10月５日、白老港の汐音ひろばで開かれ、来場者がアイヌ文化へ理解を深めました。

チェプ祭はサケの豊漁と漁の安全を祈願し、海の恵みに感謝するアイヌ民族の催事です。開催式では山丸和幸実行委員長が「今後もアイヌ文化の伝承に努めていきたい」とあいさつ。大塩英男町長、戸田安彦道議らが祝辞を述べました。会場には延べ4000人が来場。チェプオハウ（サケ汁）、チマチェプ（焼きサケ）などが振る舞われたほか、アイヌ民族の古式舞踊、刺しゅうの体験コーナーなどもお目見えしました。

会場で披露された古式舞踊

知っておこう アイヌ文化

# オソロコッとイマニッ

イランカラプテ。フンペ（クジラ）にまつわる町内のアイヌ語地名は、先月号でご紹介した知床だけではありません。虎杖浜地区のアヨロ海岸にあるオソロコッとイマニッもその一つです。アイヌ民族の言い伝えによれば、昔、オキクルミという英雄が沖で大きなフンペを捕り、浜辺でフンペを串に刺して焼いていました。大きいフンペであったので焼けるまで時間がかかり、待っている間にオキクルミはうたた寝をしてしまいます。そうこうしている間にフンペが焼け、さらに串までも焼けて、ついに串は折れてしまい、地面にドサッと焼けたフンペが落ちたのです。その音に驚いたオキクルミが尻餅をついたのが現在のオソロコッ（尻・跡）と呼ばれる場所で、その付近の海には焼き串を意味するイマニッと呼ばれる岩もあります。さて、フンペの串焼きと聞くと味わってみたくなるのは私だけでしょうか？アイヌ民族はフンペの肉を茹でて食べたり、切って炉の上に吊るし、燻製にする他、フンペオハウ（クジラ汁）や冬の間、屋外にぶら下げ、凍らせてから薄切りにするルイペ、さらにフンペの脂は料理にかけたりするなど、調味料として使用したと言います。信仰、伝承、地名、食文化を辿っていくとアイヌ文化とフンペ、そしてアトゥイ（海）とのつながりをもっと知りたくなります。

尻餅の跡のようにえぐれた崖と砂浜が広がるオソロコッ。海から顔を出しているイマニッは波で侵食され、現在では折れた焼き串に見えない

**問い合わせ先：イオル事務所　チキサニ　☎８２－６３０１**